

平成 29 年度 学校経営方針

村松小学校 校長 神田 武司

＜経営方針＞

地域とかかわり、夢（目標）に向かって、ねばり強く努力する子どもの育成
—キャリア教育を柱に、「充実感」と「つながり」を重視した教育活動の展開—

学校の教育目標「学び合う子」「明るい子」「チャレンジする子」の実現を目指し、地域とかかわり、夢（目標）に向かって、ねばり強く努力する子どもを育成する学校づくりを進める。

教育活動の展開に当たっては、キャリア教育で育てたい5つの力「郷土愛」「かかわる力」「みつめる力」「やり抜く力」「夢おこす力」の視点から活動のねらいを重点付ける。そして、充実感を味わわせることと、つながり（人・もの・こと）を深めることを重視して活動を展開する。

また、保護者・地域と目標・課題を共有し、共通理解の下、連携・協力して取り組む。

このようなことを通して、ふるさとに愛着や誇りをもち、主体的に考え、意欲的に取り組み、夢の実現に向かって自分たちの生活を切り拓いていく子どもを育てる。

※「充実感を味わわせること」では、目的意識、主体的な取組、体験的活動、振り返り、賞賛を大切に、「つながり（物・人・こと）を深めること」では、礼儀正しさを土台に、考え合う、伝え合う、思いやる、感謝することを大切にして教育活動を進める。

1 目指す子どもの姿（重点目標）

- 知・・・ともに学び合い、確かな学力を身に付ける。
- 徳・・・やさしく言葉をかけ合い、相手を思いやる。
- 体・・・めあてをもって体力づくりに励み、望ましい生活習慣を身に付ける。

2 目標達成のための方途

- (1) ＜学校の基盤＞安心・安全な学校づくり
 - ・子どもとの信頼関係を築く教師のかかわり方を重視する。
 - ・巡視体制の強化、危機管理マニュアルの改善、情報の収集・共有・即時対応に努める。
- (2) ＜職員組織＞全校体制による取組と同僚性の向上
 - ・共通理解と共通実践に努め、最後までやりきる。
 - ・学年部での連携と助け合いを大切に、全教職員で育てるという意識をもつ。
- (3) ＜学習指導＞基礎基本の定着と思考力・判断力・表現力の育成
 - ・「分かった」「できた」「点数が上がった」から得られる充実感、達成感を得させる。
 - ・「教え、考えさせる授業」の枠組みに、「かかわり」「自己決定」「振り返り」の学習活動を取り入れ、主体的・対話的で深い学びを目指した授業改善を推進する。
- (4) ＜生徒指導＞人間関係を深める
 - ・礼儀正しい言動を大切に、温かい人間関係づくりに努める。
 - ・子ども自らよりよい生活を考え、実践していく自主的・自発的態様の育成に努める。
 - ・子どもの意識や人間関係を探る「心のアンケート」や教育相談等の予防的対応を重視する。
- (5) ＜職員研修＞新しさへの対応と指導力の向上
 - ・ICT教育の研修を実施するとともに、タブレットを使った授業実践を進める。
 - ・授業研究を中核に、学級経営等の基本研修を実施し、指導力の向上を図る。
- (6) ＜連携＞子どものよさや成長を保護者や地域と実感・共有する
 - ・子どものよさに着目した保護者との連携を大切し、説明責任を果たす。
 - ・9年間を見通した学校間連携（小中連携、小小連携）を進める。

3 その他

- ・校舎改築への柔軟な対応
- ・鮭サミットに向けて準備
- ・業務改善加速事業の取組
- ・県小教研指定研究（理科）への準備